

科技高 いきもの記

Vol.62 2022.10.4

生物教員 佐藤龍平

ボールを利用しているのかも?! ニホンミツバチの巣

文化祭の時に、卒業生のナツキが遊びに来てくれた。彼は3年ほど前に私が担任をしていた時の生徒で、植物に詳しくカメラが好きな生徒だった。当時一緒にボルネオ島に行き、野生のウツボカズラを見つけて一緒に大興奮したことが懐かしい。久しぶりに会って思い出話を一通りしたあと、ふいにナツキが言った。「そういえば、今日学校に来る途中でミツバチの巣がありましたよ。」え??ハチの巣??そんな通学路にあったかな?写真を見せてもらおうと、街路樹の樹洞にたくさんのミツバチが集まっている。ニホンミツバチの巣だ!場所は、猿江公園の道路沿いの道だと言う。えー!いつも通勤の時に通っている道なのに、全く気付かなかった…。すぐにハチ好きのナツキにこのことを報告すると、「ああ、前から知ってますよ。ちなみに北部にもう1個ありますよ。」とさらっと言われて愕然としてしまった。



ニホンミツバチの巣が見つかった場所(矢印)。一緒に写っているのはナツキの弟。

この学校にいと、こういう“いきもの発見報告”はよくあることなのだが、それにしても、**どうして君らはそんなに見つけるのが上手いのだ?!**今回も、ナツキはふらっと遊びに来て、さらっと面白いものを見つけて、ぼろっと事も無げに話し始める。自然を見る“目”が違うんだなあ。

教えてもらった場所を見に行ってみると、手を伸ばせばやっと届くような位置に穴があって、たくさんのミツバチが出入りしていた。中を覗くと、無数の働きバチが集まる中心に黄色いボールが入り込んでしまっているのが見えた。どうやら、このボールごとミツバチが巣に利用しているようだった。

ナツキは、この**ボールの思わぬ役割**についてこんな面白い推測をしていた。「もしかしたら、この**ボールがいい感じに巣の入り口を狭くして、外敵避けになっているのかも**。この樹洞は入口が大きいから、なぜこんな場所に巣を作ったのかと疑問だったので。」なるほどなるほど!確かに養蜂でハチを飼育するときに使う巣箱の入口は狭かった気がする。そんな重要な役割があるのに私は、写真を撮る上で邪魔な人工物だなあと考えて、危うく取り除いてしまうところだった。そう言うと、「**ボールがこの巣の支えになってそうだから、取ったらダメになっちゃいますよ(笑)**」と笑われてしまった。ああどうも、浅学菲才ですみません。もっと勉強しますので、みなさんどうぞこれからも色々教えてください。



上) 樹洞に作られたニホンミツバチ *Apis cerana japonica* の巣の入口。たくさんの働きバチが集まっている。たまたま入ってしまった穴あきのボールを巣の一部として使っていると思われる。ボールのさらには先にはハニカム構造が並んだハチの巣があるのだろう。

右) 樹洞の入口で飛び交う働きバチたち。外に飛び出していったり、巣に戻ってきたり、巣の入口はかなり騒々しい。花の蜜や花粉を集めて巣に運んでいるのだろう。攻撃性は低く、大人しいハチなので、見ている分には問題ない。そっとしておいてあげよう。

